

かみねっちょ新聞

令和2年 12月号

～あなたの知らない飼育員の世界～

こんにちは！

フクロモモンガです。

以前より展示スペースが無く皆様のお目にかかれな
いところで飼育を続けていましたが、オーストラリアに
暮らすこの愛らしい動物を皆さんに見てほしい！と
カンガルー担当者が考え、11月より千パンジー屋内
観覧室にて展示を始めました。(なぜ千パンジーなの
かと言うと担当者が飼育管理しやすいからです…)

おでこの臭腺を色んなところに
こすりつけるので、しもが
うすくなっています。



モモスケ(♂)



モモコ(♀)

「モモンガ」と名前は付いていますが
♀がお腹の袋で育児をするので
カンガルーやコアラと同じ有袋類
(ゆうたいるい)の仲間です。
マントのような飛膜を使って
移動します。

当園では現在♂1♀1の合計2頭を
飼育しています。

夜行性のため日中は巣箱の中で寝て
いる様子をご覧になれます。

また、運が良ければ起きてご飯を食
べているところも見られるかも！？

ぜひ会いに来てくださ～い。



双前歯目 フクロモモンガ科
フクロモモンガ
生息地:オーストラリア
食べ物:果物や昆虫など



飼育員 いのうえ

人も替わり動物も換わり生まれ変わる動物舎

今年4月からマーラ、アナグマを飼育担当しています。

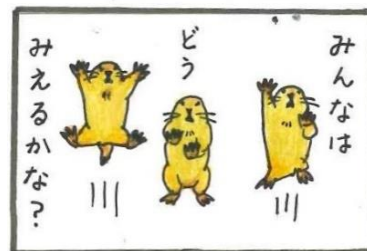


飼育員は不定期に担当替えがあります。草が大好きなネズミの仲間マーラ。長い爪の持ち主で穴掘り名人のアナグマ。全くタイプの違う2種ですが、何とも不思議な魅力のある動物たちです。この獣舎は、20数年前、私が動物園に入って初めて担当を受け持った施設で、当時はタヌキとアライグマが暮らしていました。その前に元々はレッサーパンダ舎として新設されたものでしたが、その後、ハナグマ、タヌキ、ヤマアラシ等々色々な動物たちの展示を行ってきました。

他の獣舎でも様々な理由で、違う種類の展示に切り替えるということはたまにあります。最近ではウミウがはちゅうるい館に引っ越ししたので、後にはプレーリードッグが、チンパンジーの森ができて引っ越ししたチンパンジーの後にはワオキツネザルが、ゴリラ亡き後には、エリマキキツネザルが暮らしています。新しい動物を招き入れる際には、まず脱走防止の対策、安全対策、その動物に合った環境の整備、造作を慎重に行います。月日の経過とともに動物獣舎は老朽してきますが、担当者が替わり、動物も換わることで、改良や修繕がされ、時には新たな樹木や草が植えられ、違った味のある展示になったりします。担当替えでは、新人のつもりで、初心に帰り、動物舎と共に成熟していきたいなあと思っています。



飼育員 やまうち



1月の予定

- *2 (土) ~ 31 (日) モーっと干支展
- *5 (火) チンパンジー「イチゴ」の誕生会
- *17 (日) あつまれニホンザルのひろば!

詳細はかみね動物園ホームページ <http://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/>
または 0294(22)5586 までお問い合わせください



ついに完成！新ニホンザル舎！！

昨年より工事をしていたニホンザル舎がついに完成します！！新しい獣舎の名前は「ニホンザルのひろば」です！真ん中にそびえたつ7mのタワーが印象的で、展示場には土のエリアや丸太・ロープを組んだりとこれまで見ることのできなかつた様々な行動を見られる獣舎となっています。気になる公開日は**12月10日(木)**！！是非ご家族・ご友人お誘いあわせの上ご来園ください！

~新獣舎を探検???~

公開日の少し前の**12月6日(日)**に新獣舎の内部公開イベントを行います！！この機会を逃したら獣舎の中を見ることはできなくなるのでお見逃しのないように！！詳しいイベント参加方法はかみね動物園HPをチェック！

